明石工業高等専門学校	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	国語Ⅳ

科目基礎情報

科目番号	0060	科目区分	一般 / 必修
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 2
開設学科	建築学科	対象学年	4
開設期	後期	週時間数	2
教科書/教材	野田尚史・森口稔著：日本語を話すトレーニング（ひつじ書房）		
担当教員	仁木 夏実		

到達目標

1）報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。
2）作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。
3）課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	明確な結論・意見・報告を分かりやすく、論理的・実証的、レイアウトにも優れたレジメに作成できる。	明確な結論・意見・報告を分かりやすく、論理的・実証的なレジメに作成できる。	結論・意見・報告を示す材料は上げられるが構成・レイアウトに不備がある。
評価項目2	動作・スピード・わかりやすさに優れたプレゼンテーションができ、質問にも的確に答えることができる。	準備されたプレゼンテーションができるが、質問に対して即座に適切な回答ができない。	読み合わせに近いプレゼンテーションとなっている。
評価項目3	テーマに即した意味のある発言が、簡潔・論理的・実証的にできる。	テーマに合った、意味のある発言だが、冗長となっている。	テーマから外れてはいないが、未整理な発言内容である。

学科の到達目標項目との関係

学習・教育到達度目標 (A) 学習・教育到達度目標 (E)

教育方法等

概要	テキストの設問に従った学生の発表と、それに対する質疑応答を中心に授業を進行する。日本語を使用する様々な場面での諸問題を取り上げ、日本語の表現と日本人の発想の特徴について、知識の整理、自発的な考察、適切な実践により習得することを目標とする。
授業の進め方・方法	講義形式。学生のプレゼンテーション（A4１枚のレジメを使用）と質疑応答を中心に、各テーマの理解とプレゼン技術の習得をはかる。
注意点	本科目は、授業で保証する学習時間と、予習・復習及び課題レポート作成に必要な標準的な自己学習時間の総計が、90時間に相当する学習内容である。 事前学習を含め、発表と質疑応答に意欲的に取り組み、国語表現に必要な知識と技術を確実に習得するよう心がけること。なお適宜、資料を配付し、小テストを実施する。 合格の対象としない欠席条件(割合)　1/3以上の欠課

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週	オリエンテーション 授業の概要 発表予定の立案	レジメの作成の仕方、プレゼン注意、それぞれの評価基準が理解できる。
		2週	問い合わせをする トレーニング１の発表と質疑応答 上記問題点の考察と整理	「問い合わせ」のテーマを理解し、必要な技術（話し方・５Ｗ２Ｈ・タイミングなど）を中心としたレジメを作成し、プレゼンテーションすることができる。
		3週	お願いをする トレーニング３の発表と質疑応答 上記問題点の考察と整理	「お願いする」テーマを理解し、必要な技術（気配り・タイミング・話し方など）を中心としたレジメを作成し、プレゼンテーションすることができる。
		4週	誘う・断る・謝る トレーニング５の発表と質疑応答 上記問題点の考察と整理	対他意識に関するテーマを理解し、必要な技術（気配り・タイミング・話し方）を中心としたレジメを作成し、プレゼンテーションすることができる。
		5週	インタビューをする トレーニング７の発表と質疑応答 上記問題点の考察と整理	「インタビュー」のテーマを理解し、必要な技術（事前準備・対象選択・話し方など）を中心としたレジメを作成し、プレゼンテーションすることができる。
		6週	スピーチをする トレーニング９の発表と質疑応答 上記問題点の考察と整理	「スピーチ」のテーマを理解し、必要な技術（ふさわしい内容・話し方）を中心としたレジメを作成し、プレゼンテーションすることができる。
		7週	会議で発言する トレーニング１０の発表と質疑応答 上記問題点の考察と整理	「会議での発言」のテーマを理解し、必要な技術（意見整理・決定の仕方・会議進行など）を中心としたレジメを作成し、プレゼンテーションすることができる。
		8週	中間試験	
	4thQ	9週	分野別課題研究研究１ 受講者に関係の深い事例研究	テーマ別の事例について議論として意見をだすことができる。
		10週	やさしい日本語 トレーニング１２の発表と質疑応答 上記問題点の考察と整理	「やさしい日本語」のテーマを理解し、必要な技術（語選択・異文化理解・マナーなど）を中心としたレジメを作成し、プレゼンテーションすることができる。
		11週	道や交通の案内をする・手順を説明する トレーニング６・１１の発表と質疑応答 上記問題点の考察と整理	「道や交通の案内をする」「手順を説明する」のテーマを理解し、必要な技術（内容の整理・説明の仕方など）を中心としたレジメを作成し、プレゼンテーションすることができる。
		12週	プレゼンテーション１ トレーニング１３の発表と質疑応答 上記問題点の考察と整理	「研究発表」のテーマを理解し、必要な技術（材料選択・資料作成など）を中心としたレジメを作成し、プレゼンテーションすることができる。

		13週	研究発表２ トレーニング１４の発表と質疑応答 上記問題点の考察と整理	「研究発表」のテーマを理解し、必要な技術（スライド・質疑応答など）を中心としたレジメを作成し、プレゼンテーションすることができる。
		14週	面接１ トレーニング１５の発表と質疑応答 上記問題点の考察と整理	「面接」のテーマを理解し、必要な技術（質問意図・種類別の基準・自己紹介の仕方など）を中心としたレジメを作成し、プレゼンテーションすることができる。
		15週	面接２ トレーニング１５の発表と質疑応答 上記問題点の考察と整理	「面接」のテーマを理解し、必要な技術（志望理由・質問を通じたPRなど）を中心としたレジメを作成し、プレゼンテーションすることができる。
		16週	期末試験	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	2	
				作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。	2	
				課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	2	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	50	50	0	0	0	0	100
基礎的能力	50	50	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0